

陸軍

帝國海軍

戰時編制は二年度作戦計畫、改定は固く奏上致しませ

一、現に海軍中、戰時編制、改定は就きまじ、對支作戦上、

要するに、今後更に他國と同戰致さるる場合、作戦上、

西支に鑑み、又艦船の修理、新艦の竣工等に伴い、役務

變更の必要を基き、現に實施中、戰時編制を完了

十月十五日ヨリ別冊、通改定ノストト致シ度、御允成

模造半葉十三行野紙(花輪紙)

海軍

ヲ仰  
カ  
マ  
ス

改定ノ要  
点ハ次ノ  
通  
ヲ仰  
座  
イ  
マ  
ス

模造牛黄十三行罪紙(花崎納)

海  
軍

1251

(一) 外戦部隊ハ聯合艦隊、支那方面艦隊ノ外ニ主トシ

テ内南洋方面ニ在ル戦力ノ編成及兵要調査ニ當リレハハ為新ニ一箇戦隊及一箇駆逐隊ヲ

リ成ル身四艦隊ヲ編成改テテ御座イマス

(二) 聯合艦隊ニアリマシテハ甲級巡洋艦戦隊一隊（二隻）及第一箇水雷戦隊ヲ増勢シ又全力戦時

編制ノ場合ニ合致セシムル為従来ノ第一ノ潜水戦隊ノ隊名ヲ第三第四潜水戦隊ニ改メマシタ

海軍

模造半葉十二行部紙(花崎納)

(三) 聯合艦隊及第四艦隊ノ兵力ニ関シニミテハ國際  
情勢並ニ帝國今後ノ事變處理ニ關連シマシテ之

ガ増添時期ニ有事ノ際 戦力増強ニ遺憾ナキ  
ヲ期スルコトヲ 緊要ト認メマスノテ 逐次増添ス

ハコトヲ 概々在方針ニ依リテ 研究中ニテ御

座イマス

以下省略

(四) 十月頃ヨリ 横濱 航空隊ヲ中心艦隊ニ附屬致  
ス

海軍

模造半葉十三行罫紙(花崎納)

(四) 三月ヨリ山城ヲ第一戦隊ニ加入ス  
四月下旬ヨリ櫻井、久尾ヲ聯合艦隊ニ加ヘス  
(ハ) 五月ヨリ左ノ艦隊部ヲ聯合艦隊ニ編入  
シラス

第五戦隊、(聖、那智) 第三中隊戦隊  
短艇分二ヶ(駆逐隊)、摩耶、龍驤

第三中隊戦隊、第一船隊ニ

龍驤ヲ第一航空隊ニ

摩耶ヲ第二隊ニ

第五戦隊、(那智、羽黒) 第一船隊ニ

三隈、最上ヲ第七戦隊ニ

海軍

(二) 又五月ヨリ第四艦隊ニ 第十一戦隊 (多摩)  
 常磐) 及 第五潜水戦隊、艦艇子潜水隊  
 二乃至三隊) ヲ加ヘス

模造半葉十三行野紙(花崎納)

機密中 第十三行軍紙 (本田納)

(四)

支那方面艦隊は第一、第二、第三遣支艦隊  
ノ三箇艦隊編制トシ夫々下揚子江、南支及  
北支ノ作戰ニ當ラシメ又揚子江口附近及下流三

角地帯ノ作戰ニ任ズベキ部隊第十三戰隊

及上海方面根據地隊等ヲ支那方面艦隊付

屬ニ致シテ御座イマス (支那以外ノ第三國トノ戰爭ニ於テ)

遣支艦隊ヲ設ケマスルハ全力作戰ヲ實施シマス

場合ハ聯合艦隊トシテ第一、第二、第三、第四、第五艦隊  
ヲ必要トシマスノ一方支那方面艦隊トシテ

海軍

(毛) (建造) (区分せしめん) 模造半葉十三行罫紙(花崎納)

元对支作战上地域的ニ艦隊ヲ編成スルヲ要スルニシテ  
海軍ヲシテ之ヲ安布致シテ御座リマス

体相

而聯合艦隊ノ増勢ヲ要スルニ關係上支那方面  
艦隊ノ兵力ハ作战上許人依リ管理スルニ必要ナ御

座リマス本軍艦隊ニ比シテ海軍ニ隻、水雷隊

掃海隊各一隊收至ヲ減ハシコト、致シテアリマス

又特別艦隊ハ南寧方面ノ作战終了後之ヲ除クニシテ

又特別艦隊又ハ防備隊等ヲ以テ作战艦隊ニシテ

青島、漢口、厦門、広東ニ特別根據

地隊ヲ割テ九江、井山島ニ是地隊ヲ管理隊

海軍



置  
キ  
ク  
コ  
ト  
ニ  
改  
編  
致  
シ  
テ  
ア  
リ  
マ  
ス

模造牛葉十三行罫紙（花崎納）

海  
軍

1258

二昭和十四年度帝國海軍作戰計畫並全戰  
時編制ノ改定ニ就キスレテ

現在ノ作戰計畫ニ於キスレテハ支那事變中ニ更ニ

他國ト開戦ノ場合ニハ對露作戰ノ場合ヲ除

ク外支那方面艦隊ノ編制ヲ解キ支那

方面ハ第三艦隊ノ担当トシ而モ第三艦隊ヲ聯

合艦隊ニ編入スル如ク定メラレテ御座イマスガ

海軍

模造半葉十三行野紙(花崎納)

1259

支那事変が今日ノ情勢迄進展致シヌシテ  
カマシテハ更ニ何レノ國ト開戦致シヌルモ  
支那方面ノ作戦ヲ有効果ニ繼續シテ  
存スル存スルハ作戦ノ支那方面艦隊ヲ  
存続シ現在ノ兵力配備ニ大ナル  
変更ヲ来サヌ様ニ致シヌルコトガ  
適当ト存ジマス  
又斯ノ致シヌレバ聯合艦隊ノ  
任務ニ新敵國ニ

海軍

模造半葉十三行部紙（花納納）

對スル作戰ニ没頭ムコトヲ得マスルコト、ナリ作戰上有利  
ニナルモノト考ヘマス

右ノ趣旨ニ基キマシテ 昭和十四年度作戰計畫並ニ  
全戰時編制ヲ各々別冊ノ通改定致度  
御允裁ヲ仰ヒマス

海軍

1261

機造半葉十三行野紙(花崗納)

改定ノ要吳ハ艦隊名稱ノ変更並ニ伴

フ字句ノ修正<sup>等</sup>御座イマシテ兵力配備、作戦

要領ニ實質的ノ変更ハ御座イマセ又

尚對米作戰ニ於キマシテ敵國本土方面ニ激

遣致シマサル潜水戦隊ヲ以テ第六艦隊ヲ編

成<sup>之等</sup>シ先遣部隊ノ指揮ヲ円滑ナラシムル如ク致シ

海軍

テアリス

右作戦計画ノ改定案ニ就キコレヲハ各課

總長ト協議済テ御座イラス

以上ヲ以テ表上ヲ終リラス

昭和十四年十一月 日

軍令部總長 博恭王

海軍